



松原かわら版

世帯数 1,288 戸
人口 2,988 人
高齢化率 29.7%
(令和6年10月1日現在)



文化祭・ひろばまつり

松原地区 10/25・26

第13回松原地区文化祭・福祉ひろばまつりが開催されました。
日頃の活動成果を多くの方々にご覧いただき、人々の交流・活気ある楽しいお祭りになりました。
展示作品は、幅広い年齢の方から出展いただき、数多くの力作が並びました。
また、松原地区町会連合会の連携企画も同日開催され、多くの方で賑わいました。



参加者の声 (アンケートより)

- 絵手紙コーナーが素敵でした。
- ろう学校、養護学校の作品も見られて良かった。
- 写真がとってもキレイだった。
- キルトで作った袋など今度挑戦したいと思った。
- コーヒーが本格的で美味しかった。
- コースター作りが楽しかった。
- 子ども参加の工作教室や健康コーナーはとても良いと思う。



文化祭連携企画報告

○時計台フリマ&能登半島支援バザー

時計台前の歩道を使用して時計台フリマ&バザーを開催しました。バザーの売上は17,600円、募金は7,341円集まり、合わせて24,941円を「日赤能登半島大雨災害義援金」に寄付させていただきました。ありがとうございました。

○モルック広場

中央公園でモルック広場を開催しました。当日も様々な年齢層の方々にチーム対抗でゲームをしていただきました。初めての方がほとんどでしたが、やっていくうちにどんどんコツを掴み楽しんでもえられた様子でした。

○まつばら謎解きウォーク

松原地区内の10カ所で出題される問題に4択で答える謎解きウォークです。一生懸命謎解きをして集まった小学生をはじめ約50名の方々と答え合わせをしました。

○非常用携帯おにぎり試食会

初めての試みとして、非常用携帯おにぎりの作成&試食会を開催しました。試食していただいた方々からは、「普通にうまい」「思っていたよりおいしい」など概ね良好な反応をいただくことができました。

○文化祭&連携企画スタンプラリー

文化祭と文化祭連携企画の両方に参加していただけるようにスタンプラリーを企画しました。7カ所中4カ所以上のイベントに参加してスタンプをいただいた方には、グミやお味噌汁などお好みの景品を差し上げました。

上高地散策 デジカメ講座&健康福祉講座

9/19



あいにく雨の予報でしたが、上高地に到着するころにはちょうど雨が降り止みました。上高地ビジターセンターの加藤さんにガイドいただきながら、河童橋から小梨平キャンプ場周辺のゴミを拾う環境美化活動をしました。ゴミ拾いといっても探さなければ見つけられないほどゴミが少なく、それでもゴミ拾いしている人がいることで、観光客がゴミを捨てにくくなるという話が印象的でした。

ガイドでは上高地の由来や、地下深くでマグマが冷え固まった深成岩が急激な隆起によりわずか140万年で地表に露出した世界一若い花崗岩を見たり、シナノザサの食痕、ケシヨウヤナギの「ケシヨウ」が幼木の樹皮の色によることなどについて説明をうかがいました。



お昼ご飯に、五千尺ホテルの山賊定食をいただいた後、デジカメ講座メンバーは思い思いの場所へ撮影に行き、散策メンバーは、ウエストン碑や穂高橋・田代橋方面を歩きました。



(編集委員)

放課後子ども教室

放課後子ども教室は、子どもたちが勉強したり、自由にのびのびと遊べたりする、放課後の居場所を提供する事業です。

松原地区町会連合会では平成23年8月から、松本市(担当…こども育成課)の委託を受け、町内公民館を会場に実施しています。

この教室では、異年齢・地域住民との交流、集団活動による共生の実施を図るとともに、人の心を思いやる心の育成を目指します。

現在、放課後子ども教室には20名登録されています。内訳は6年生3名、4年生8名、3年生2名、2年生5名、1年生2名です。

運営スタッフは10名で、教室のある日は、シフトを組んで3名で見守りをしています。下校時間15時前にはおやつを、15時以降は帰宅時に館を提供しています。

また、学期末(7月・12月・3月)にはお楽しみ会を実施しています。内容は軽食・果物・飲み物・お菓子の提供と、紙芝居、二度のビンゴ大会をやった後は、各自遊び等をして時間を過ごします。

市と松原地区町会連合会からの補助によりほとんど無料で実施されています。家庭の事情等で放課後子ども教室を利用したい方は、松原地区公民館へぜひ申し込みしてください。



先日、庭にひょうたん型の果実が実っているのを見つけた。亡き祖母が松原に移住したのが今から約40年前。それから初めてのことです。

松原への移住を機にそれまで同居していた祖母とは離れて暮らすことになりました。当時小学生だった私は、週末に松原で祖母が作ったお寿司を家族皆で食べて過ごす時間が楽しみでした。また、松原の静かな環境で勉強する為に実家の南松本から自転車漕いで泊りに来たこともありました。泊った翌朝に鳥のさえずりを聴きながら中山方面を散歩して帰ってくると祖母が朝食を準備して待っていてくれました。あの時の朝食の美味しさは今でも覚えています。

その後、私が祖母の家に住み始めて二十年が経とうとしています。園芸が趣味の祖母のおかげで梅、さくら、柿の収穫が庭で楽しめます。ひょうたん型の果実はなんと洋ナシでした。また一つ収穫の楽しみが増え、思いがけない祖母からのプレゼントに感謝しています。

(編集委員)